

【出前授業 学習指導案】

令和3年7月27日（火）
大田高等学校3年生57名
4校時（11：40～12：30）
県立埋蔵文化財センター
西園・湯場崎・上浦

1 4校時指導案

(1) 目標

発掘調査成果を中心に、遺跡や文化財、資料などを活用して、歴史を学ぶ意味を考えるとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

(2) 実際

| 過程 | 子どもたちの活動 | 時間 | センター職員指導及び支援内容 | 準備・留意点 |
|----|---|----|--|--|
| 導入 | 1 埋蔵文化財センターの仕事理解する。 | 10 | ○ 埋蔵文化財センターの仕事内容を簡潔に説明する。 | ○ ヘルメット・ジョレン・移植ごて |
| | 2 本時の目標 埋蔵文化財センターと地域の遺跡を理解する。 | | | |
| 展開 | 3 自然科学との関わりを知る。 ① 土器の圧痕から、ゴキブリの卵のものが発見されたことを知る。 ② クロゴキブリの伝来が、18世紀とされていたのが、約4500年前の土器から、発見されたことを知る。 ③ 鹿児島で見られる火山灰を学習する。 アカホヤ火山灰・薩摩火山灰等の降灰が偏西風の影響を受けていることを知る。 | 10 | ○ クロゴキブリの卵の圧痕が、定説を覆したことを説明する。 ○ アカホヤ火山灰で、南九州の環境が破壊されたことを説明する。 | |
| | 4 縄文時代について学習する。 ① 遺跡数を予想する。 ② 上野原遺跡を知り、鹿児島の縄文土器の特徴を知る。 | | ○ 全国のコンビニ数の約8倍であることを説明する。 ○ 鹿児島を代表する遺跡上野原遺跡を紹介する。 | ○ プレゼンテーション |
| | 5 縄文時代・弥生時代・古墳時代・古代の土器や土師器・須恵器の違いを知る。 | 20 | ○ 本物の土器を見せ、各時代の焼き物の特色を解説する。 | ○ 縄文土器 弥生土器 須恵器 土師器 ○ 土器を4点ほど用意する。 |
| | 6 地域にある縄文時代の遺跡を知る。 ① 九州の標識土器出土地である塞ノ神遺跡と手向山遺跡を知る。 ② 弥生時代の代表的な遺跡である下鶴遺跡を紹介する。 | 10 | ○ 伊佐市に九州の基準となる遺跡が存在することを強調する。 | |
| 終末 | 7 本時のまとめをする。 自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人達の働きについて考える。 | | ○ 地域の歴史が教科書にある日本の歴史と密接に繋がっていることを説明する。 | |

(3) 評価

・ 地域にある文化財や資料から、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、地域の歴史や先人の働きについて理解できたか。